

久留米大学を受診した患者さんへ

「転移性膵腫瘍に関する後ろ向き多施設共同研究」の研究に使用する情報について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の情報を使用します。

- 1) 期間：2005年1月から2015年8月30日
- 2) 受診科：消化器内科 または 複数科にわたるもの
- 3) 対象疾患名：転移性膵腫瘍
- 4) 使用する情報：（診療情報等）

あなたの試料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。

ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

- 1) 研究組織（当院）：所属：内科学講座 消化器内科部門
研究代表者：講師 岡部義信
研究分担者：助教 石田祐介、助教 牛島知之、助教 佐々木優
助教 安元真希子、助教 倉岡圭、助教 深堀理、
助教 阪上尊彦
- 2) 研究の意義と目的：本研究は転移性膵腫瘍の原発臓器の内訳、確定診断に至った病理免疫組織学的診断方法、選択された治療法、予後について多施設共同で後ろ向きに検討し、最近の転移性膵腫瘍の実態を把握することを目的としています。
- 3) 研究の方法：研究担当者が該当期間内に確定診断された転移性膵腫瘍例を抽出し、過去のカルテから患者情報、各種検査所見、病理組織所見などを取得したのち匿名化し、原発疾患の内訳に関し、総数、頻度、割合を評価します。
- 4) 研究期間：平成27年11月倫理委員会承認後に、2005年1月1日から2015年8月30日の間に当院で経験した症例を対象とした後ろ向き研究であります。
- 5) 上記の情報の使用を選定した理由：転移性膵腫瘍の実態把握をするために選定しました。
- 6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：施設ごとの匿名化と事務局によるデータベースでの管理を行う。本研究においては特定の個人名を公表することはありません。研究データは電子カルテから収集するのみであり、個人情報の入ったデータを外部に持ち出すこともありません。また、データを統計的に解析する段階より、個人名を同定しない連結可能な匿名化を行なうことで、被験者のプライバシーや医療記録は守秘されます。
- 7) 研究成果の発表の方法：本試験により得られた結果は、研究終了後に研究責任者と共同研究者によって国内、国外の学会において発表する予定であります。
- 8) 利益相反：本研究は特定企業からの資金援助はありません。

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

（代表者氏名）（久留米大学内科学講座消化器内科部門、講師 岡部義信）

（住所）福岡県久留米市旭町 67

（TEL）0942-35-3311（内線：3714）